

災害は人ごと、対岸の火事と思ってしまうか。

ここ60年以上は幸い大きな災害に見舞われていない本市ですが、安心はできません。自然現象は人間の力では止められません。地震列島、豪雨列島に生きるわたしたちが、自分と家族、地域の命を守るために、いまできることを学び、伝えていくことが必要と考えます。

金井さんによる防災についての講義



防災を学び、伝える

「子どもたちに防災教育を実施したい」

東横野子ども会育成連合会の金井弘恵さんは、そんな思いから「こども防災講座」を開催しました。

今回の講座は7月28日から29日にかけて上後閑にある満行寺で行われた東横野インリーダー研修の一部として実施され、東横野小学校の2年生から5年生の男女22人が参加。「ぐんま地域防災アドバイザー」(*)でもある金井さんが、防災についての講座を行いました。

地震の際などに危険と思われる場所に丸印をつける危険予知トレーニングにも子どもたちは積極的に参加します。また、金井さんが視察に訪れた東日本大震災の被災地である福島県の様子を写した写真にも子どもたちは熱心に見入っていました。

ほかにも市役所危機管理課の職員が出題する防災に関するクイズに答えたり、災害時に使える新聞紙を使ったスリッパ作りなどが行



違った方法で炊かれたご飯をもらう児童



自分で作った新聞紙スリッパをはく児童



危機管理課職員による防災の講義

われ、子どもたちは「もっと作りたい！」と意欲的に取り組んでいました。

最後は、育成連合会の父兄がかまどと炊飯器を使って作った、おにぎりの食べ比べを体験して講座は終了しました。

参加した5年生の小井戸心音こいねさんは、「テレビもない、自由な生活を体験できて、防災のとてもいい勉強になりました」と話しました。

金井さんは「東横野子ども会育成連合会では定期的に防災に関する研修を実施しています。今回の防災教育では、家に置いておくとよい防災グッズを熱心に覚えたり、休憩時間に覚えたての新聞紙スリッパを作ったりと、子どもたちにも好評でした。子どもから各家庭の防災力強化に繋がればと思うので、これからも防災に関する研修を実施していきたいと考えています」と今後の抱負を語りました。

※群馬県主催の防災士養成講座を受講して防災士資格を取得した人が、群馬県や市町村が実施する防災啓発活動などに参加・協力し、自主防災組織活性化・地域防災力の向上に向けた取組を行います。金井さんは安中市の女性として初めて資格を取得しました。